

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

1. 教育学専攻初等教育学専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

初等教育学専攻の所定の課程を修了し、次のような資質・能力を備えた者に学士(教育学)の学位を認め、教育・保育に携わる専門家を社会に送り出します。

1. 公正な社会の実現に向けて高い志をもち、教育・保育への本質的理解にもとづいて初等教育・保育に貢献できる資質。
2. 実践現場で求められる教育・養護・福祉等の幅広い視野と深い洞察力。
3. 教育学に関する高度な専門的知識と基本的な研究・調査能力。
4. 論理的かつ批判的な思考力および柔軟で的確な判断力。
5. 実践現場で必要な豊かな感性と自己表現力並びに倫理性。
6. 人格の基礎を培う時期である初等教育・保育に貢献しようとする情熱。
7. 教育・保育に携わる専門家としての深い人間理解力と実践力。
8. 現代社会の教育・保育問題に対して真摯にかつしなやかに対応し、他者と協働して問題解決に取り組む姿勢と意欲。
9. 自らの知的関心を発展させ、生涯学びつづける姿勢と意欲
10. 一人ひとりのかけがえのない「いのち」と「こころ」を大切にする社会の実現に貢献しようとする姿勢。

2. 教育学専攻初等教育学専攻の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

初等教育学専攻では、上記のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のような方針で2年次から4年次への教育課程を編成しています。

1. 教育学全般を幅広く、また体系的に理解し、教育への関心を深めるための「教育学概論」を全体の基盤として、さらに多様な教育学関係科目を置く。
2. 以上を基礎として、教育職員免許法の規定する初等教員一種免許課程の枠組みを踏まえた初等教育コースと就学前の教育・保育にかかる免許・資格課程を踏まえた幼児教育コースを置く。各コースを修了することでそれぞれの学校種の一級教員免許状及び保育士資格を取得できるような科目を開発する。
3. 聖心の初等教育学として豊かな人間性の育成を重視し、高度な教員・保育者養成を目指して特色あるカリキュラムを展開する。
4. 研究方法を身に付け、問題関心を発展させるための少人数の演習科目を全学年に置く。多様な関心に応えるとともに、次第に初等教育学の専門的な研究方法へと導く。専門的な追求力を深めた上で、各自の課題設定により卒業論文を作成する。
5. 教育学の特色ある科目群として「人間学習」を多数展開し、協力して行う体験的な授業を通

して、自己を開き、表現して他者と交流する学びの在り方を追求する。

6. 2年次から4年次への具体的な展開方針は次のようである。

2年次:教育全般や初等教育・保育に関する基礎を学ぶ。教員・保育者に求められる基本的な資質や能力を身に付け、将来の自己像・教員・保育者像を描く。また、保育実習を通して乳幼児の発達や子育てをめぐる諸問題に関心を高めていく。

3年次:広い視点から教育全般や初等教育・保育をとらえる。知識を豊かにし教育の具体的方法について学ぶ。教員・保育者に求められる資質の理解を深め、表現力や感性、豊かな心を磨く。

4年次:幅広い視野、柔軟な思考力、的確な判断力など、教員・保育者に必要な資質・能力を確かなものとし、教育の諸問題を探究する。教職・保育職に対する情熱と使命感を高める。教育実習を実施し、学校と児童・幼児に対する理解を深め、実践的な指導力を身につける。

3. 教育学科初等教育学専攻の進学生・編入学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

初等教育学専攻は、将来、小学校教員あるいは幼稚園・保育園・子ども園の保育者になることを前提とした特別な専攻です。初等教育コースと幼児教育コースに分かれていて、専攻を修了すると、初等教育コースでは小学校1種の免許が取得でき、幼児教育コースでは幼稚園1種と保育士が取得できるようになっています。したがって、次のような資質・能力を持つ皆さんに進学してもらいたいと願っています。

1. 子ども一人ひとりに心をこめて関わることのできる、暖かさや豊かな人間性
2. たくましい知的探究心と倫理性、責任感
3. 教職・保育職への情熱としなやかな実行力
4. 教育・保育の持つ社会的な重要性と人間形成上の意義についての興味、関心
5. 生涯にわたり学びつづけ、自己向上に積極的に努めようとする気概

この専攻を希望する者は、現時点で、卒業後は教員あるいは保育士になるという強い意志とそのための努力を惜しまない学生であることが望まれます。

2017年3月31日更新

2018年7月23日更新